

報道関係各位

平成 20 年 年頭社長挨拶 (要約)

株式会社 ツムラ

株式会社 ツムラ
コーポレート・コミュニケーション室
TEL 03-6361-7100

新年 明けましておめでとうございます。

今年は薬価改定が実施される年であります。また、原油高等を背景としたコスト上昇を勘案すると、例年にも増して経営改善に積極的に取り組む必要があります。当社は現在、このような厳しい状況の下にあります。昨年からは漢方・生薬に特化した事業展開をスタートし、昨年5月には中期経営計画を達成するための6つの活動目標を発表しています。その進捗状況について話をします。

第1の目標は「漢方医学の確立」です。大学医学部・医科大学での漢方医学教育の充実と大学病院における臨床研修の場としての漢方外来の設置に関する支援を実施していますが、現在8コマ以上の漢方医学の講義履修が必修となっている大学は62大学となり、漢方外来を設置している大学病院は65大学となりました。2009年度までに80大学全てでの講義履修の必修化と漢方外来設置に向けての支援を継続していきます。

第2の目標は「育薬の推進」です。現在、抑肝散、六君子湯、大建中湯について取り組んでおり、西洋薬にない作用と効果が確認されるなど、すばらしい基礎・臨床研究の結果が報告されています。実際に使用している先生方が、効果の切れ味を実感していることがさらに研究を推進する力となり、使用量も急激に増加しています。

第3の目標は「漢方の国際化」です。現在、米国における開発は大建中湯に絞込み、手術直後のイレウスをターゲットとした、第1相の忍容性試験を終了し、データの回収・確認作業を行なっています。今年度内に最終報告書を入手し次のステップを検討します。

第4の目標は「生産体制の整備」です。医療用漢方製剤の数量ベースの伸長率は中間期で8.1%となり、計画していた7%を超える伸張でした。このような状況の変化を勘案しつつ、新工場の建設計画も含め、効率的な生産体制の構築を行う必要があります。

第5の目標は「生薬トレーサビリティ体制の確立」で、安全で安心できる原料生薬を安定供給することを目的にしています。生産農家に対しては、ツムラが作った栽培作業手順書による指導を行い、畑の段階から管理できる体制を構築していきます。原料生薬の確保に関しては、必要生薬の計画的確保、野生生薬の栽培化研究について、優先順位をつけて取り組んでいきます。

第6の目標は「開かれた会社の創造」です。ステークホルダーとの信頼関係を強めるためにも、2008年度までに財務報告の適正性が担保できる内部統制の仕組みを確立します。現在、内部統制構築のためのプロジェクト活動が順調に進捗しているとの報告を受けています。

最後になりましたが、今年当社は創業115周年を迎えます。ツムラ漢方記念館のリニューアルオープンなどメモリアル行事も予定していますが、社員一人ひとりが創業の精神に立ち返り、それぞれの課題に意欲と情熱を持って取り組んでいただきたいと思います。

以上